

## ユニセフカップ2011 西宮国際ハーフマラソン

2011年11月13日(日)～東日本大震災復興支援 アフリカの子どもたちの命と健康を守ろう！～

### 実施レポート

『ユニセフカップ西宮国際マラソン』(主催／サンケイスポーツ、西宮市体育協会、産経新聞社)が初めて開催されたのは1986年。飢餓に苦しむアフリカ諸国の子どもたちを支援しようと、ユニセフ(国連児童基金)が同5月に世界に呼びかけた「スポーツエイド」がそもそもの始まりです。

今回で26回目となる大会に、日本ハムグループは特別協賛で参加しました。

阪神甲子園球場から武庫川河川敷への特設コースを7,000人以上のランナーが駆け抜け、小学生駅伝の熱い競走など大いに盛り上がりました。また、ファミリー3kmコースへの参加者やそのご家族など、会場には多くの方々が来場されました。

今回も日本ハムグループは「チャリティーフードショップ」を開設し、森の薫りウインナーを使用したホットドッグや天津閣シリーズの肉まん、バニラヨーグルト(日本ルナ)などを提供し、売り上げの一部は(財)日本ユニセフ協会に寄付されました。

恒例となった「ハムリンズ食育クイズ館」には多くの子供たちも参加し、「食べることを楽しく学ぼう」をテーマに食育クイズラリーや食育アニメをお楽しみいただきました。

日本ハムグループは「食とスポーツで健康を育てよう。」をテーマに、プロからアマチュアまで幅広いスポーツ支援に取り組み、皆様の心と体の健康を応援してまいります。



「会場は多くの来場者で大賑わい」



「チャリティーフードショップでお腹も大満足」



「入賞者には、国産自社農場でつくられた「美ノ国」の骨付きハムや、日本ハムのハム・ソーセージ詰め合わせなどが贈呈されました」



「ちびっ子に大人気のハムリンズは今年も会場で大活躍」